



経済同友会 + 同友クラブ

の魅力とは？

経済同友会の設立から5年後に発足し、会員の親睦交友機関として活動してきた同友クラブだが、近年、誤解されることも少なくないという。井口武雄同友クラブ理事長と、経済同友会と同友クラブの両方を知る4人の会員の方に、二つの活動に参加する魅力についてお話を伺った。



井口 武雄

同友クラブ 理事長
三井住友海上火災保険 名誉顧問

豊富な勉強会と趣味活動で 知的啓発と親交を深める

済同友会とともに活動を続けて現在に至っております。

同友クラブは、さまざまなテーマによる勉強会などの「研鑽」から、囲碁、ゴルフ、小唄、俳句、ダンスや洋画の「趣味活動」、さらに美術鑑賞、音楽鑑賞、観劇、旅行などご家族も一緒に参加して楽しめる多彩な催しを行い、会員の皆さまの「知的啓発」と「親交を深める」ためのクラブ組織です。

私も政治・経済・歴史や文化に至る

までの幅広いテーマで、著名な有識者・専門家・学者をお迎えして開催される各種勉強会に参加して、知見を広げることができ、また、趣味の会では、個人ではなかなかご指導をいただくことができない著名な先生のもとでクラブのお仲間のご指導も得て、たいへん有意義なクラブ活動を行っております。

皆さまには「同友クラブ」の成り立ちと魅力をご理解いただき、あらためてご入会のお誘いをいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

経済同友会会員の皆さまにおかれましては、日々力強い活動を進めておられますことにお慶びを申し上げます。

さて、最近経済同友会会員の方の、「同友クラブ」は、「経済同友会」のOBの会であり、経済同友会を退会しないと入会できない」とのご発言を耳にする機会が多くなりました。

しかし、同友クラブの会員資格は、経済同友会および各地経済同友会の会員と会員経験者となっております。従いまして経済同友会および各地経済同友会の会員とそのご経験者にご入会いただくクラブであります。

今回この誌面にて同友クラブについてご紹介する機会をいただきましたので、あらためて同友クラブの成り立ちをご案内いたします。

昭和26年2月発行の会報『経済同友』には、「同友クラブは、経済同友会会員の親睦交友機関として経済同友会創立の5年後に発足した」と明記され、経

(第三種郵便物認可) 第十八號 経 済 同 友 昭和二十六年二月十日発行 (四)

経済同友会会員の親睦交友の機関として設立中であつた同友クラブは去る一月十二日千代田区西新井「フ」に新築された千代田ビル(関東新築建物)において創立総会を終り、二十日開館、正式に発足した。

創立総会は二月十二日午後四時から新築のクラブで開かれ、出席者約四十名、委任状によるもの四十一名で、設立準備委員長金井寛人氏議長となり規約案、予算案、運用方針案を審議してこれを全会一致で決定、更に浅尾新南氏以下三十五名の理事及び加藤英夫氏以下三名の監事を選任して閉会した。

新任の理事ならびに監事は創立総会終了後引続き第五回役員会を開き、理事長、常務理事を互選して別項のように決定、更に役員会の定例開催日時を毎月第二金曜日正午と定められた。終つて会員一同新装のロウンジに集合、祝宴に移り、六時過ぎ散会した。

同友クラブ役員(五十名)

一、理事長 竹内毅
二、常務理事 細川清孝、堀高義
三、理事 浅尾新南、井上英照、岡本忠、岡松茂太郎、奥村輝、金井寛人、川瀬一貫、木村誠二、草野義一、小池厚之助、小島義方、古村誠一、追藤一、清水康雄、塩原三、高見重義、作道宗作、永野重雄、藤井丙午、藤本輝夫、松本幹一、水野成夫、一、監事 加藤英夫、堀高武、松本重男

クラブの運用方針

運用の効率化と経費の節減をはかるため左のような運用方針をとる。

規約

(1) 会館、食堂
会館の運用並びに食堂の経営は関東紙業株式会社に委託する。ただし重要事項の決定はクラブと協議の上決定することとする。

(2) 委託契約の締結並びにその他細目については理事会に一任する。

(3) 旅務管理事務
事務の一切を経済同友会に委託する。委託契約の締結その他細目については理事会に一任する。

(4) ゴルフ会その他各種の同好会及び観劇、懇談会等随時開催する。

設備の関係から並し当り二〇〇名を定員とする。

規 約

第一條 (目的) 同友クラブは経済同友会々員の親睦機関として、これに必要な事業を行う。

第二條 (会員) 本クラブの会員は経済同友会々員に限る。

第三條 (会費の納入) 会員は総会の定める所定の会費を納入しなければならない。

第四條 (役員) 本クラブは左の役員を置く

第五條
第六條
第七條
第八條
第九條
第十條
第十一條
第十二條
第十三條

同友クラブ開館を伝える当時の『経済同友』誌面

同友クラブの活動内容

講演会

政治・経済から健康まで幅広く、知的啓発につながる六つの講演会を開催。



時事問題懇談会

取り上げるテーマは、政治、経済、社会、先端技術など、タイムリーなもの。

- 開催 毎月1回(8月を除く)
- 年会費・参加費 なし

師を囲む会

宗教や哲学、科学、歴史などの分野の第一人者を講師に、人間の探求に努めます。

- 開催 毎月1回(8月を除く)※昼食付
- 年会費 15,000円
- ビジター参加費 2,000円

海外事情調査会

各界の権威者を講師に、激しく変貌する海外情勢の情報を収集します。

- 開催 毎月1回(8月を除く)※昼食付
- 年会費 15,000円
- ビジター参加費 2,000円

新世紀懇談会

会員とその家族が対象。社会、政治、生活トレンドなどを横断した内容を取り上げます。

- 開催 年6回(奇数月)※講演後に懇親会を実施
- 年会費 なし
- 参加費 2,000円(懇親会実費として)

健康ライフを考える会

会員とその家族が対象。北里研究所病院の全面協力の下、病気や健康に関する最新情報を学びます。

- 開催 年6回(奇数月第4木曜)
- 年会費・参加費 なし

サロン講座

会員とその家族が対象。歴史に関連する事項や話題になっている本を選び、関連する専門家や著者から話を聞きます。

- 開催 年6回ほど
- 年会費・参加費 なし(視察ツアーの場合は実費)

同友二木会

会員と官界幹部との研鑽・交流会です。

- 開催 毎月1回(8月を除く)※昼食付
- 年会費 25,000円
- 参加費 なし



教養を深める活動

同友クラブでは教養を高めると同時に、趣味を通じて会員同士の交流を深める活動も行っています。(★)のものは全会員対象。

美術鑑賞会(★)

注目の美術展などを研究者や学芸員などから直接説明を受けて鑑賞します。対象は会員とその家族。

- 開催 年3~4回
- 会費 なし
- 参加費 実費



興福寺中金堂再建記念特別展、運慶のレクチャー

同友洋画会

モデルを使った勉強会のほか、国内や海外への写生旅行などを行い、年に1度、作品展覧会も開催。指導は、日本芸術院会員・独立美術協会会員の絹谷幸二氏。

- 開催 毎月2回(勉強会)
- 会費 65,000円
- 参加費 なし(写生旅行などは実費)

俳句の会

兼題三つほどの下、句会を開催。今月の特選作を西山氏が選びます。

- 開催 毎月1回
- 会費 30,000円
- 参加費 2,000円(都度)



俳句結社「駒草」主宰の西山睦氏が指導

同友会小唄会

財界人のたしなみの一つで、近年は外国人からも人気を集めている「小唄」を学びます。

- 開催 毎月2回
- 会費 72,000円(6カ月)
- 参加費 なし



指導を行うのは、春日会会長 春日と栄芝氏

旅行・見学会(★)

独自に企画したこだわりの国内・海外の旅行のほか、注目の企業・地域・文化施設の見学会を行っています。対象は会員とその家族。

- 開催 年に国内・海外旅行各1回、見学会1回
- 会費 なし
- 参加費 実費



海外旅行：ブルガリアとルーマニアへ



国内見学会：マンズワイン小諸ワイナリーにて

このほかに、歌舞伎や演劇、ミュージカル、オペラなどを鑑賞する「演劇観賞会(★)」、クラシック音楽や邦楽のコンサートなどとあわせてグルメを楽しむ「文化を楽しむ会(★)」なども開催。さらに「同友クラブゴルフ会」「同友囲碁会」「やさしいダンスの会」などの趣味の会もあります。

同友クラブのメリット

同友クラブの会員であれば、経済同友会を退会しても、経済同友会の「会員セミナー」に参加することができます。

同友クラブの入会資格と会費など

入会資格：経済同友会の現会員および会員経験者、各地経済同友会の現会員および会員経験者
 入会金：10,000円(復帰入会は無料)
 年会費：100,000円(年度途中入会の場合は月割8,350円)
 その他：会合ごとの年会費や参加費は別途

同友クラブ会員インタビュー

一体として参加することが大切

2012年に、経済同友会と同友クラブと同時に入会しました。経済同友会の設立趣意書には「相互に啓発し合い切磋琢磨する教室でもあり、また気楽に親交を温める倶楽部でもある」という一節がありますが、同友クラブは教養を磨き、仲間を作るという意味では経済同友会と一体であると考え、躊躇なく同時入会しました。経済同友会の各委員会は、政策提言に至るまでの間、一流の講師を招いて話をお聴きし、議論します。こうしたプロセスはエグゼクティブのためのビジネススクールであるというのが持論とするところです。一方、同友クラブは文化、芸術面での幅広い教養が提供される場であり、どちらにも一体となって参加することに意義があるのではないかと考えていま

す。こうした両方の場に参加し得られる情報やさまざまな考え方は、私にとっては専門である法律の枠だけで考えては得られないバランスある判断に役立っていると思いますし、経営者の方々においてもより偏りのない健全なモノの見方や考え方をするために必要ではないかと感じます。

私は「同友洋画会」と「同友クラブゴルフ会」「師を囲む会」「海外事情調査会」に参加しています。「同友洋画会」では年1回の洋画展に出品していますが、日本芸術院会員の高名な先生から毎回、作品に対するコメントをいただけることは無上の喜びです。美術鑑賞などの課外活動も担当の世話人の方々が培ったネットワークを駆使、尽力された企画だなど感じる際立ったものばかりです。



経済同友会 幹事、同友クラブ 監事
西村あさひ法律事務所 弁護士(代表パートナー) / 東京大学客員教授

小野 傑

1953年東京都生まれ。76年東京大学法学部卒業、82年ミシガン大学ロースクール卒業(LL.M)。2012年4月、経済同友会入会。16年度より幹事。17～18年度ビジネスリスクマネジメント委員会副委員長、創発の会副座長。



経済同友会 幹事、同友クラブ 理事
岩手経済同友会 副代表幹事
久慈設計 取締役社長

久慈 竜也

1958年岩手県生まれ。82年函館大学商学部商学科卒業。
2012年1月、経済同友会入会。13年度より幹事。14～18年度創発の会副座長。16～18年度東京オリンピック・パラリンピック2020委員会副委員長。

会員とのつながりを深められる場

私はもともと岩手経済同友会の会員だったのですが、経済同友会による東日本大震災の震災復興プロジェクト・チームの活動に参加したことをきっかけに本会への入会をお誘いいただきました。入会后、同友クラブのことも伺い、人脈が広げられるかと思い、2013年に入会しました。

経済同友会の委員会は、提言をまとめるために自分なりの考えを発言する場で、すごく勉強になります。

一方の同友クラブは、経済同友会の活動を補完しながら、会員とのつながりを持つことができる場です。先輩会員の方からアドバイスをもらったり、相談をしやすのが魅力です。

また、地方では実現できないカルチャーショックを体験する機会もたく

さんあります。

私は官界と交流する「同友二木会」に参加していますが、この会では昼食を共にするので、クラブの会員の皆さんと強くつながりやすい。少人数でいろいろな専門家から時事問題について貴重な話を聞くことができ、とても贅沢なことだと感じています。

岩手経済同友会では今、副代表幹事を務めています。経済同友会や同友クラブで学んだことを会合などで話すこともありますし、経済同友会の会員に岩手まで講演にご来県いただいたこともあります。

地元にはままではできなかったことがいろいろ実現でき、同友クラブでの活動はお金に代えられない財産になっています。

教養に裏打ちされた思考を磨ける

私が経済同友会に入会したのは、勤務していた監査法人で子会社の常務取締役役に就任させてもらったことで、32歳のときでした。

同友クラブには、経済同友会に入会してから2年後、2007年に入会しました。きっかけは、同友クラブの講演会は時流を捉えた広い内容のテーマが設定されていて、ビジネス関連だけでなく文化や教養に関するプログラムがあることを知ったことです。しかもそれらは、最前線で活躍する経営者の目線で企画されています。

私はもともとリベラルアーツに関心があり、組織のリーダーになるためには実務、論理だけでなく、教養に裏打ちされた思考を磨くことが重要だと思っています。同友クラブの講演会に

は、まさしくそれを具現するプログラムが多数あります。一般にはお招きしにくい方も、同友クラブだからということで講演して下さっています。限られた人数の中でメッセージをいただけることはとても貴重です。これらに参加することで、直接的に自分のビジネスにつながらなくとも、ビジネス環境や社会構造の理解や、その背景にある、歴史に裏打ちされた文化を把握できる助けになっています。

もう一つ同友クラブの魅力として、ビジネスの第一線を離れたベテラン経営者の方々と年齢・立場を超えて親しく会話できることが挙げられます。リーダーに重要なリベラルアーツを学べる場として、私も若手の方を同友クラブにお誘いしています。



経済同友会 幹事、同友クラブ 理事
EY新日本有限責任監査法人 経営専務理事
大久保 和孝

1973年東京都生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒業。
2004年9月、経済同友会入会。18年度より幹事。
09～11年度社会的責任経営委員会副委員長。17～18年度憲法問題委員会副委員長。



元経済同友会、同友クラブ 理事
アルプス食品工業 相談役

石川 裕子

1956年東京都生まれ。81年ボストン大学大学院M.S修士号取得、91年コロンビア大学国際関係行政大学院修士修了。
2006年9月、経済同友会入会。09～16年度幹事。17年4月退会。

人間関係の輪が広がる交流の場

経済同友会に入会したのは、勤務していた前職(ノバルティスホールディングジャパン)の社長に、「グローバル社会で経営をしていくにはさまざまな人と交流し、信頼関係を築くことが大切だから」と勧められたことがきっかけでした。

前職を退職後も個人として経済同友会に所属していましたが、終身幹事の前原金一さんと大学の先輩の同友クラブの永山理事から同友クラブを教してもらい、2017年に入会しました。経済同友会の会員当時、同友クラブの存在を知っていたら、同時に入会していたと思います。

同友クラブにいらっしゃるのは、井口理事はじめ企業のトップを経験された方々であると同時に、幅広い見識

を持った方々です。お人柄も温厚で気さくな方々で、いろいろなことを教えていただいています。

同友クラブの講演会は政治、経済、文化、歴史など幅広い分野で活躍する第一線の有識者からスモールグループで直接話を聞ける貴重な場になっています。また、「健康ライフを考える会」では北里研究所病院の先生が、健康や病気に関する最先端の話をしてくれます。これは経済同友会の会員の方々にもオープンになっています。

最近では若手の女性経営者から相談を受けることもあります。同友クラブに入って諸先輩の方々との対話をぜひお勧めしたいですね。同友クラブに参加することで、人間関係の輪も広がると思います。